



DNW-23026 の概要

課題名 : 神経回路修復を目指した新規治療法の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

藤田 幸 (国立大学法人島根大学医学部)

ステージ: 標的検証前期

【標的疾患】

筋萎縮性側索硬化症 (ALS)

【創薬標的】

遺伝子 X

【創薬コンセプト】

脳発達期のような高い神経回路形成作用を ALS による神経変性後に誘導し、神経機能を回復させることによる ALS 治療薬

【モダリティの設定】

核酸、遺伝子治療

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) 遺伝子 X の発現を阻害することにより、脳発達期のような高い神経回路形成作用を示すことを見出した。

【支援ステージにおける目標】

遺伝子 X の発現抑制による ALS モデル動物における組織学的病変及び運動機能障害への影響を確認する。

【関連特許】

無し

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。